

第27代執行部スタート!

聴いてる人が
も人員ギリギリ
ぬがれたようだ
例の記念祭もマ
などをはじめ、
のみせどころで

頑張るゾ！

会長 これから一年間、会員立場であるが、実際には立場である。そこで自分に負けたわけだ。たして自分の心をもつて、心配だけれどもこの場所で自分の老えをまとめてみる。いと思う。それではます決意を言。人によく「将来後悔しないから」といわれる。でも将来はあくまで現実であって将来のためにやっているのではない。ほんばりとして現れる大人们になると現実を生き抜いて生きようではないのである。高校時代を完全に失うのである。その代りのものにはなれないものはない。しかしの間は現実を生き抜いて生きようではないのである。だからはまることになると思う。だからはまることの一年間力いっぱいするつもりだ。

つづいて自治会に一言。自治会といふのは大きなもので、その役についているものは、必ずしも力をもつてゐるのである。だから自治会の

必要じゃないということはない。
ここで代議員だと言ふ。
学校で生活する上で大切なことは、
何事か執行部危機の声
頭数だけそろえられるのは良
化のきさをみせはしはじめて
のダブループ等の人間の結
つきが人間の結びつきに必要なものはない
らしい人間である。そして
皆に人間としての魅力があ
るはずである。自治会がで
た力だけでできるのではなく
自治会のそういう方針を確
立の爲めに期待したい。
みんなに一言。
「もはや無氣力になつて
きる以外に生きる方法は
ないんだ。」わななつて
思つてなんでもうつる
の今はもう駄目なだけ
だから自らの命を握
り取れほしい。それ
で、その苦しみや辛びの
思いつき泣ける位の
ことをはなしして
おぼらしきも知つてもら
く。人のことなど気に
ない。ほんまつともう一
回はいい。これから一
年間活動してもら
う。それが一年間活動
なんばります。(名田正敏)

で、勧説停止処分について、競技行部で話す台詞機会を持ちました。そして、そこでは、従来通り、一回五十五名を過ぎてもクラブ活動を継続していくための活動停止処分にその手続きをしよっと、という話にならぬと、思われています。試合開催の間は全くなし、などと、思われるが、試合でかんじたのが本當です。予算策定の際にも、体操部は、運動部として、第三多、他はその活動内容の密接なかわらず低いと評価されてしまつて、う闌で、運動部は、先生の下に在中している、といわれて、その仕事のないことでしょう。文化部は、運動部に対して、次の一歩と思って、ますます「文化部に活動停止がある」として、なぜ、運動部にはないが、時刻無視で活動している、勤務の大半のラップに対する多少の少しありを持つ問題です。私は、考えたあげく、当初方針を変えて、活動停止処分は、当分の間、文化部にあわせることにしました。この事にやまざる活力した。

問題など											率	
投 神											全 体	
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	全 体		
1年	89%	89%	100%	95%	72%	67%	87%	89%	83%	86%	86%	86%
2年	87%	89%	70%	84%	91%	77%	77%	75%	79%	87%	82%	82%

正式に書記長		3年 76% 78% 51% 57% 63% 84% 91% 86% 52% 70% 73%									
開票得票数											
役員名	投票数	有効 票数	無効 票数	信 任 票 数	不 信 任 票 数						
田 正 勲	会 長	1082	996	86	814	182					
若 林 伸 代	副 会 長	1081	975	106	769	206					
松 永 孝 子	〃	1081	971	103	524	454					

芳新間

発行所
県立芦屋高等学校

出版部

— 1 —

本校指定店
合資 芦屋写真室 撮影
国鉄芦屋駅北出口
電話芦屋四七三六

前に迫る記念祭とい
な行事にとり組んで
す。新執行部成立後
一週間のうちに、あ
が國結力によつて、
も第二十六回記念祭
ユール執行部原案成
方、合品部のゾン入

大き
りま
んなが真剣にとり
うか
の価値のあるよう
強力
味わいのあるもの
やく
くてはなりません
ケジ
また、新鮮な躍動
云伝である芦校
次斗

ノスのみ
「むだけ
表として、どんと
ていただくことを
するところであり
（松

んの代
使用し
お願い
す。
煙子)
存されてい
か読んでみ
を読んでも、
感じられるも
がいっぱい
芦高精神とこ
のを、現在の
だぞ、大だ

毎日、テレビで放送される歌謡番組をみていて、時々腹立たしい思いをすることがあります。それは司会者などに対する、客裏表独語のファンの態度だ。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	全体
1年	89%	89%	100%	95%	72%	67%	87%	89%	83%	86%	86%
2年	87%	89%	70%	84%	91%	77%	77%	75%	79%	87%	82%
3年	76%	78%	51%	57%	63%	84%	91%	86%	52%	70%	73%

開票得票數						
	役員名	投票數	有効 票數	無効 票數	信任 票數	不信任 票數
名田正敏	會長	1082	996	86	814	182
若林伸和	副會長	1081	975	106	769	206
松永輝子	〃	1081	971	103	524	454

佐 祐 子	書 記 長	1063	967	96	724	243	
佐 村 雄 一郎	執行委員	1060	976	84	757	219	
巳 文 平	ク	1060	972	88	694	278	
辰 巳 田	書 記 長	1060	956	94	599	367	
	(兼任)						
	佐 祐 子						
	（かんぱります）						

後日の小説家としての才能を發揮するが、これが最も重要な要素である。つまり、この「死んだもの」に対する態度が、物語の構成や登場人物の行動に大きな影響を与えるのである。

「ういきよはこなたはここ吹き。なんんせいかにいはらにあがく。くらうでせ。キヤヤ。せせ。きりこで前でもいい。しれられた人球場で、迫し危機感をもたらすトシの重きに登場があがく。」

